

トイレたんけん隊が面白い!パルテノン多摩の歴史ミュージアムへ

「Mr.ベンが多摩ニュータウンにトイレの黄金郷を見た…」

ただいま、パルテノン多摩 2 階の歴史ミュージアムにて開催されている特別企画「多摩ニュータウン トイレたんけん隊」。ミニコーナーの展示ですが、多くの情報量が満載で、とてもユニークな内容。

日ごろ、多摩ニュータウン内を散歩していても、各地の公園トイレにはなかなか注目をしないのではないのでしょうか? **まち歩きを楽しむ新たな視点**が得られるかも。私、個人的には必見!とさえ思うくらいのおススメ! ぜひ、お出かけください!



開催日 開催中～2019年11月11日(月)
時間 10時～18時
場所 パルテノン多摩 2 階・歴史ミュージアム企画コーナー
料金 入場無料
主催 公益財団法人多摩市文化振興財団



日本列島を襲った台風19号。市内の公共施設には約2500名が避難しました。「備えあれば憂いなし」とはいうものの、なかなか「備え」ができていない自分のくらしを見つめなおす機会にもなりました。被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。復興への祈りを込めて。

HISAKA'S Profile

1977年 兵庫県神戸市生まれ/1989年 北諏訪小学校卒/1992年 桐朋女子中学校卒
1995年 桐朋女子高等学校(普通科)卒/1999年 中央大学法学部政治学科卒
1999年～2002年 中小企業金融公庫(今の日本政策金融公庫)勤務/2002年4月
多摩市議会議員補欠選挙当選/2006年 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科
修了(公共政策学修士)/2017年～2019年 多摩市議会第31代議長
2019年現在 議員歴6期18年 諏訪2丁目在住

市議会レポートほうれんそう

岩永ひさかへのご相談は・・・

ご用件と希望する連絡先を留守番電話へ!必ず折り返します。

TEL 042-371-0763 留守番電話専用

多摩市議会議員

岩永ひさかのほうれんそう

所属会派 フェアな市政 発行者 岩永ひさか
連絡先 多摩市諏訪2-2 B410
TEL/FAX 042-371-0763

ブログ更新中!!
ご意見も随時
募集しております!



<http://www.iwanaga-hisaka.net/>

残暑を感じながら、季節は秋へ。市議会第3回定例会が終わりましたが、ホッと一息つく時間もなく、年内最後、12月2日(月)から開会予定の第4回定例会に向けた準備が始まりました。

国連の気候行動サミットでのグreta・トゥーンベリさんの演説にハッとさせられた方も多いのではないのでしょうか?

「地球環境のことを考える。」私たち一人ひとりが、ささやかであってもできることや、ほんの少しのところがけを積み重ねることが大切。きっと未来へつながると思います。

まずは、私たちの身の回り、身近な暮らしから…。

2019年秋

岩永ひさか



生活環境常任委員会で「ごみゼロ」をめざした「ゼロ・ウェイスト宣言」で世界的にも有名な徳島県上勝町を視察。

ごみ収集車を走らせず、町民がリサイクルステーションに足を運ぶ方式。45分別に取り組んでいました!



今月のテーマ:

駅前や公園にある公衆便所。みなさんは使いますか?

せっかく、トイレがあるのに…というはなし。

Change!



駅前や公園にある公衆便所。みなさんは使いますか？
 せっかく、トイレがあるのに…というはなし。 

■公衆便所のいま。

9月に開催された平成30年度の決算審査において、岩永ひさかは「公衆便所」に対する市側の見解を質しました。

現在、駅前等公衆便所は4か所。また、市内各地にある公園内などに設置されている公衆便所数は95か所にのぼります。

そして今、まちの年月とともに、公衆便所の老朽化も進み、課題が浮き彫りになっています。時代合わない和式便器は、足腰が弱くなる高齢世代、あるいは洋式便器しか使用したことのない子供たちにとっては「使いたくても使えない状態」という声も聞こえてきます。

それ以上に、気になるのは衛生環境。公衆便所等を管理する公園緑地課は、清掃業者からの業務報告をチェックしているとはいうものの、毎日、現場を点検管理しているわけではなく、残念ながら、快適で満足できる環境が維持されているとは言い難いのではないのでしょうか？

●多摩市内に設置されている駅前等公衆便所

名称	建築年月日
永山駅前公衆便所	1975年10月
多摩センター駅前公衆便所	1980年3月
聖蹟桜ヶ丘駅前公衆便所	1986年3月
豊ヶ丘商店街公衆便所	1987年6月

よくタクシードライバーの皆様が公衆便所を利用される姿を目にしますが、正直、「仕方なく」使っておられるようにも見受けられるのは気のせいでしょうか？

市民の皆さんが気持ちよく使える状態を維持できているかは…疑問です。

■老朽化した公衆便所の更新計画がない！

現在、駅前の公衆便所については東京都の補助金も活用し、順次、洋式化を図っていますが、公園の公衆便所には、洋式化の計画はありません。そして、駅前等公衆便所についても、古くなった建屋の改修計画は存在しません。

多摩市では「公共施設の維持管理」について財源の確保も含めた計画書（ストック・マネジメント計画）が策定されていますが、公衆便所類は対象外となっています。その理由は「常時、人がいるわけではないから」と聞きましたが、旧耐震基準の建物、また、傷んだ建物の現況を見ると気になります。

ちなみに、公園については「公園長寿命化計画」において一部改修対象になっている公衆便所もありますが、**街区公園にある公衆便所は全てが改修の対象外**。問題が発生すれば、「事後対応」で対処し、何とか間に合わせているのが現状です。

※事後対応 壊れるなど、何か不具合、故障が起きた後に対策をとって復帰させること

■量、数を大事にする？それとも「質」を重視する？

多摩市では2018年度、公衆便所と公園トイレの清掃に24,094千円、事後対応（補修等）に2,829千円を使用しました。これは市民の皆さんの税金です。

しかし、公衆便所の実態を見ると、ここで使われている税金が本当に効果的と言えるのかどうか？…いささか疑問です。なぜなら、先にも書いた通り、「快適環境の維持継続」ができていないと言いつつ、状況だからです。

そして、将来にわたっても、**現在の公衆便所数を維持し続けるのであれば、今以上の水準でトイレ環境の改善向上が期待できるかどうか…**、現在の財政状況を考えれば、なかなか困難なようにも思えます。

■豊島区では「としまパブリックトイレプロジェクト」を実施！

公衆便所問題については、多摩市のみならず、全国他自治体も頭を悩ます課題の一つ。

豊島区では、2020年に向け、従来の「公衆便所」のイメージを刷新すべく、「おもてなし品質」の向上を図るとともに、**女性目線でのトイレ整備を通じて「女性にやさしいまちづくり」を広げていく方針を打ち出しています。**このプロジェクトでは、区内約130か所の公園トイレ、公衆トイレのうち改修が必要なトイレを平成29～31年度の3年間で全面改修する方針を明確にし、メンテナンスにおいては、通常

清掃に加え、専門事業者による特別清掃を実施するなど、公園・公衆トイレの「清潔品質」の向上を図るとしています。

こうした先進事例にも学びつつ、わが多摩市の公衆便所についてもイメージの刷新を図るべく対応をしていきたいものです。**健康都市にふさわしい安全で清潔な公衆便所改革に向け、取り組みを進めてほしい**と考えています。計画なくして、財政的な手当ても見込めない。まずは、駅前や公園の「公衆便所改善プラン」づくりに取り組む必要がありそうです。

そして、特に、子どもたちにとっての、「暗くて怖い場所」という印象を払拭していきたいですね。限られた税源、厳しい財政状況…しかし、**公衆便所の数を現状維持するのではなく、例えば、数を整理統廃合しながら、もう少し数を減らし、その分、一カ所当たりの清掃回数を増やす、あるいは清掃内容を充実するなどが考えられ**そうですね。

引き続き、公衆便所について注意深く点検していこうと思います。

みなさまのご意見もお待ちしています！



← 永山駅前公衆便所洋式化（費用約120万円）